

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市太秦老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施
- ・京都市配食サービス事業の受託（独居の要支援・要介護高齢者等に対する昼食サービス）

2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）

- ①老人デイサービス事業
 - ・通所介護・介護予防型デイサービス実施とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクレーション・送迎・相談業務などの提供）
- ②日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除き、毎日開所
- ③通所介護計画に基づく個々の利用者の生活支援を目指したサービス提供
- ④個別機能訓練計画に基づく個別機能訓練の実施
- ⑤グループ活動の実践による心身機能の向上、生活の充実のための支援
- ⑥個々の利用者に対する相談援助と関係機関との連絡調整
- ⑦サービス向上に向けた取組
 - ・アンケート調査の実施と苦情・事故に対する振返り（毎月実施）
 - ・職員に対する内外研修の積極的・継続的な取組
- ⑧京都市配食サービス事業（月～金曜日：昼食）
- ⑨居宅介護支援（月～土曜日）

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

3 サービス提供状況

【職員体制】

- ・管理者 1 名
- ・生活相談員 1 名
- ・介護職員 12 名
- ・看護職員 5 名
- ・機能訓練指導員 4 名
- ・運転手 1 名
- ・調理員 6 名
- ・介護アシスタント 3 名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

- ・
- ・

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用人数（実績値）

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(2)実利用者数（実績値）

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	78,119,895
利用料収入	6,498,383
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	45,209,992
収入計	129,828,270

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	86,273,737
事業費	14,532,314
委託費	
小額修繕費	
その他	29,017,702
支出計	129,823,753

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

ご利用者・家族を対象としたユーザーアンケートを実施
【内容】施設サービスおよび職員対応について
【時期】令和6年2月
【回収率】59.4%

(2) 利用者満足度把握の結果

【送迎】	満足95%	やや満足5%
【入浴】	満足79%	やや満足10%
【食事】	満足74%	やや満足21%
【おやつ】	満足60%	やや満足26%
【レクリエーション】	満足60%	やや満足18%
【機能訓練】	満足53%	やや満足34%

(3) 意見等への主な対応状況

送迎： 日によって時間指定できるとよりよい
⇒送迎時間につきましては、急な変更は他ご利用者の都合もあり変更はできませんが前日までに、ご相談があれば可能な範囲での対応させていただきます。お問い合わせ下さい。

入浴： 母がどのような所で入浴させてもらっているかわからない。
⇒コロナ5類に移行後、ご利用者の入浴中は見学をご遠慮頂いていますが、その他の時間であればいつでも見学を受け入れています。ぜひ、見学にお越し下さい。

食事： 味付けがやや辛めになっているようです。
⇒貴重なご意見ありがとうございます。調理員と情報を共有し皆様にご満足頂くよう努めます。

レクリエーション： 頭（脳）を使うもの。認知予防に効果があるものを取り入れてほしい。
⇒クイズや脳トレなどを取り組めるよう協議の上、取り入れていきたいと思っております。

7 その他特記事項

(1)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し社会全体の雰囲気も明るくなってきています。当デイでもこれまでどおり感染対策を続けながら外出レクの再開や新しいレクの実施、外部ボランティアの受け入れを通して積極的に事業の活性化をはかっていきたいと思っております。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

当センターでは、病気による後遺障害のある職員も勤務しています。一緒に仕事をする、一緒に仕事をするために大切なことは何なのか、そういったことを職員は研修で学び、実践しています。障がいを理由とする差別の解消に向けた研修等で理解を深め、一緒に仕事ができる事業所として成長できたと評価しています。また、海外出身の職員も勤務しているおり、多様性のある職員による体制づくり、職場環境を作ることが出来て点も評価しています。